ポーランドが EU とロシアの戦争を避ける鍵になる

（Poland Is The Key To Averting An EU War On Russia）

https://korybko.substack.com/p/korybko-to-bordachev-poland-is-the

執筆者：筆者：アンドリュー・コリブコ

西ヨーロッパのエリート層は、保守・国家主義勢力の台頭によって自分たちの権力が脅かされた場合、権力を維持するために、EU をロシアとの戦争に向かわせるかもしれない。しかし、トランプがプーチンとナブロツキの間を仲介し、米国、ロシア、ポーランドの 3 カ国の間に危機を管理するための連絡ルートを作ることができれば、そうした戦争は避けられる可能性がある。

ロシアのシンクタンク「ヴァルダイ・クラブ」のプログラム・ディレクター、ティモフェイ・ボルダチョフは 9 月下旬、「欧州とウクライナ紛争――変化する歴史的背景」という興味深い論考を発表した。

彼の主張の中心は、「欧州のエリートたちは、もはや自国の権利や主権のために戦っているのではなく、米国の権威の下に統合された『西側』の中で、自分たちの地位を守るためだけに戦っている」というものだ。この見方から、彼は最近激しさを増しているウクライナ紛争について、かなり衝撃的な結論を出している。

ボルダチョフは次のように述べている。

「欧州各国の首都から聞こえてくる発言や、キーウ政権に提供している支援の規模を見ると、ベルリン、パリ、ロンドンの権力者たちは現在、ロシアとの対立を、自分たちの存続にかかわるほど重要なものだと考えているようだ。そして、特に米国からの圧力によって、自分たちが権力を維持できる見通しがますます不透明になれば、こうしたエリートたちは実際にロシアとの軍事衝突を引き起こす可能性がある」

この論考が発表される数日前には、RT がフョードル・ルキヤノフの同じく興味深い論考を再掲載していた。ルキヤノフはボルダチョフの同僚で、ヴァルダイ・クラブの研究部門の責任者を務めている。

ボルダチョフの議論との関係で特に重要なのは、ルキヤノフが最後に示した次の見方だ。

「国際政治では、常に合理的な判断が勝つとは限らない。しかし、だからといってロシアは東欧を完全に見限るべきではない。紛争に最も近い国々こそ、最終的には、その紛争を制御された状態に保つ最も強い理由を持つ可能性があるからだ」

ここで再びボルダチョフの議論に戻る。彼の論考からは、欧州のエリートたちが、戦後の欧州安全保障体制の中で自国がどのような役割を持つのかをめぐって争っている、と考えることができる。この安全保障体制は米国の監督下に置かれ、ロシアを取り囲む「防疫線」の前線に沿って新たな「鉄のカーテン」が作られ、その西側に形成されるという見方だ。

将来の欧州秩序として考えられるのは、ドイツが主導する軍事化された EU か、あるいは軍事化された EU の中で、ポーランドが主導する「インテルマリウム（海洋

間構想)」がドイツとのバランスを取りながら、同時にロシア封じ込めではドイツを補完する形だろう。

ドイツでは AfD（ドイツのための選択肢）が勢力を伸ばしている。フランスでも国民連合が同じように勢力を拡大する可能性が現実的にある。その背景には、プーチンが最近指摘した EU の「3 つの制度的な誤り」があるという。

こうした政治状況が進めば、ボルダチョフが警告するように、国内政治で追い詰められた EU の指導層がロシアとの戦争に踏み切るというシナリオが現実になる可能性がある。

これに関連して、最近、一部ではロシアとの戦争を始める口実を作るための「偽旗作戦」が行われるのではないか、そしてその場所はポーランドになるのではないか、という懸念も出ている。詳しくは、リンク先の分析を参照してほしい。

ボルダチョフの警告と、「紛争に最も近い国ほど、その紛争を制御する強い理由を持つ可能性がある」というルキヤノフの見方を合わせて考えると、ロシアとポーランドが政府間の公式対話を再開することが重要になる。最初は米国が仲介する形でもよい。

最近では、「ロシアがポーランドのもたらす大戦略上の課題を公式に認めた」という分析も出ている。その課題とは、ロシアを取り囲む「防疫線」の西側と南側をポーランドが結びつけることだ。ポーランドが参加しなければ、EU がロシアとの戦争に踏み切る可能性は低い。

そのため、偽旗作戦への懸念が広がる現在、危機を管理するための連絡ルートを作

ることは、米国、ロシア、ポーランドの 3 カ国すべての利益になる。

しかし、ポーランドで政権を握るリベラル派は、ロシアへの恐怖を激しくあおっている。そのため、ロシア側が対話できる相手は、保守派の大統領しかいない。

この大統領は民族的な反ロシア感情を持っており、それは先月ロシア人を侮辱する発言をしたことからも分かる。一方で、現実的な判断をする人物でもある。

したがって、トランプが仲介すれば、この大統領とプーチンが大きな合意に達し、ロシアを取り囲む「防疫線」の西側で平和を維持することも可能かもしれない。